



～ やまがた緑環境税を活用する事業の展開について ～ 【平成30年度】実績

やまがた緑環境税活用事業 765,716千円
(うちやまがた緑環境税 673,992千円)

I 環境保全を重視した森林施策の展開 603,331千円 (うちやまがた緑環境税 511,607千円)

① 環境保全を重視した森林整備の推進 (561,978千円 うちやまがた緑環境税 470,254千円)

◆ 荒廃森林緊急整備事業 1,135ha (林業振興課: 561,978千円 うちやまがた緑環境税 470,254千円)
荒廃のおそれのある人工林や、活力が低下している里山林の整備を行い、森林の有する公益的機能の適切な発揮を図る

□ 人工林整備 事業量 617ha 319,174千円 (うちやまがた緑環境税 227,450千円)
手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

やまがた緑環境税による整備 374ha
国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業等) 243ha

○ 針葉樹林維持型
人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う

整備前 → 将来のすがた

～多様な樹齢からなる森林が面的に整備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～

○ 針広混交林型
広葉樹との混交の促進を図る強度間伐等を行う

整備前 → 将来のすがた

～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～

□ 里山林整備 事業量 518ha 242,804千円 (うちやまがた緑環境税 242,804千円)
病害虫等被害で活力が低下した里山林の再生。被害木の伐採や補植等を行う

やまがた緑環境税による整備 441ha
森林景観整備・人と動物との共存林整備(市町村補助) 77ha

整備前 → 将来のすがた

～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林へ～

② 森林資源の循環利用の促進 (41,353千円)

◆ 森林資源再生事業【拡充】 27ha (林業振興課: 9,224千円)
森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的に発揮する仕組みを構築するために、再造林に要する経費の一部を支援する
【森林資源の循環利用に向けて、再造林の低コスト技術の実証を追加】

◆ 森林資源循環利用促進事業 50,640m³ (林業振興課: 30,729千円)
間伐材等を、ラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図る

◆ 広葉樹林健全化促進事業 1,475m³ (林業振興課: 1,400千円)
ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、チップ等への活用に併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出及び作業道の設置を支援する

10年間の森林整備面積目標
今後10年間 (H29～38) で適切に整備された森林 11,600haの増加

II みどり豊かな森林環境づくりの推進 (141,040千円)

① 県民参加の森づくりの推進 (128,521千円)

◆ みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (みどり自然課: 114,595千円)
地域住民や市町村、NPO等がそれぞれの地域課題に沿って独自性を発揮し、かつ創意工夫を凝らして取り組む森づくり活動等への支援

- 1 豊かな森づくり活動 (地域住民との協働による里山林の保全活動)
- 2 自然環境保全活動 (希少野生生物の生息地の保全活動)
- 3 森や自然とのふれあい活動 (子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習)
- 4 木に親しむ環境づくり (木材の地産地消や木育の取組み)

◆ やまがた絆の森づくり推進事業 (みどり自然課: 677千円)
企業と地域が連携した森林の保全・活用と里山の活性化に向けた取組みの支援

- 1 企業・森林所有者・県による「やまがた絆の森協定」に基づく森づくり活動の推進
- 2 整備森林のCO₂森林吸収量認証による森づくり活動の見える化

◆ 森づくりサポート体制推進事業 (みどり自然課: 13,249千円)
地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援



② 自然環境保全対策の推進 (12,519千円)

◆ 生物多様性戦略推進事業(一部) (みどり自然課: 3,339千円)
自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査

◆ 鳥獣管理推進事業(一部) (みどり自然課: 7,604千円)
里山など森林に生息する大型野生動物の実態調査

◆ 野生鳥獣捕獲体制強化支援事業(一部) (みどり自然課: 277千円)
人と野生鳥獣の共生の担い手育成

◆ 大型野生鳥獣等野生復帰事業(一部) (みどり自然課: 1,299千円)
傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援



III 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 (21,345千円)

① 森林・自然環境学習等の推進 (3,869千円)

◆ やまがた木育推進事業【拡充】 (みどり自然課: 3,869千円)

- 1 やまがた木育推進委員会の開催
- 2 子どもの成長段階に合わせた木育教材の開発等
- 3 やまがた木育理解促進のための講演会の開催等

【「やまがた木育推進方針」に基づく木育の展開】



② みどりを育む意識の醸成 (17,315千円)

◆ みどりの循環県民活動推進事業 (みどり自然課: 13,704千円)

- 1 やまがた森の感謝祭等の開催
- 2 森を守り、育て、暮らしに活かす「緑の循環システム」を体験する各種イベントの開催 (森のホームステイ、間伐体験、木工体験会等の開催)
- 3 やまがた緑環境税の普及啓発 PRパネル展の開催や広報誌「もりしあ」の発行、新聞等による広報活動の展開等



◆ やまがた山水百景魅力アップ事業(一部)【拡充】 (みどり自然課: 1,118千円)
やまがた百名山探訪マップでのやまがた緑環境税PR

◆ 総合支庁実施事業 (総合支庁: 1,705千円)

- ◇ 村山総合支庁 ・むらやま版・木のある生活推進事業(森林整備課)
- ◇ 最上総合支庁 ・BEST!森づくりリーダー育成事業(森林整備課)
- ◇ 置賜総合支庁 ・置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業(地域保健福祉課)
- ・おきたま源流の森づくり活動推進事業(森林整備課)
- ◇ 庄内総合支庁 ・出羽庄内公益の森づくり事業(森林整備課)

◆ やまがた緑環境税広報事業 (税政課: 788千円)
やまがた緑環境税の周知、広報



③ やまがた緑県民会議 (161千円)

◆ やまがた緑県民会議 (みどり自然課: 161千円)
森林環境譲与税とやまがた緑環境税の用途等の整理・検討ワーキンググループ会議開催等



【II+III 162,385千円】

「みんなが安心して暮らせるみどり豊かなやまがた」の実現

平成38年度の
やまがた緑環境税を活用した森づくり活動などへの参加者数の目標
(H27) 60,979人 → (H38) 7万人

平成38年度の
やまがた緑環境税の認知度向上の目標
(H27) 45.1% → (H38) 50%